



10万人目の入場となった雅晴君（中央）

奥州宇宙遊学館（NPO法人イーハトーブ宇宙実践センター管理）の入館者数が11月9日、10万人に達しました。平成20年4月の開館から約6年半で迎えた節目。同館は大地・星・風・銀河のテーマごとの展示や4次元デジタル宇宙シアターにより、宇宙の謎や天文学を身近に学べる施設として多くの人に利用されています。

この日、10万人目の来館者となったのは、一関市大東町の大島雅晴君（10）。記念のセレモニーでは、小沢市長と大江昌嗣理事長から認定書と記念品が贈られました。

「奥州宇宙遊学館の入館者が10万人に」



小沢市長、遠藤雄雄県南広域振興局長（左）と熱く握手を交わした森社長（中央）

市は、日本トータルテレマーケティング（株）（本社・東京都、森真吾社長）と11月7日、市役所で立地協定の調印式を行いました。同社は、関東、九州地域を中心に業務展開しており、東北へは初めての進出となります。水沢区中上野町に事務所を開設し、(株)奥州コールセンターの元従業員39人を雇用。11月4日からテレマーケティング業務を開始しています。

「従業員と共に成長したい」と意気込みを語る森社長に、小沢昌記市長は「できる限り支援する」と謝意を述べました。

「日本トータルテレマーケティング(株)と立地協定」

地域の窓

このコーナーでは、各自治体の情報を掲載。また、各自治体が抱えている課題などを取り上げていきます。



胆沢区

新校名案「胆沢中学校」

胆沢区中学校統合促進協議会
市教育委員会へ報告



佐藤教育長へ校名案を手渡す石川会長（中央）と千葉部会長（右）

胆沢区中学校統合促進協議会（石川岩夫会長）は、平成29年に開校を予定している統合中学校の校名案を選定し、11月12日、市教育委員会に報告しました。報告された校名案は「胆沢中学校」。応募があった校名の中で最も多く、市民に親しみがあるなどの理由で選定されました。同協議会では各専門部会を設置。統合に向けての課題解決や検討を進めています。校名の選考を行った校名等検討部会（千葉和男部会長）は、8月に胆沢区民を対象に校名を募集。応募された校名を選考し、11月11日の同協議会において選定されたものです。

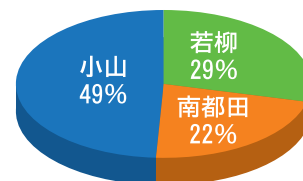
この日は、石川会長と千葉部会長が市教育委員会を訪れ、佐藤孝守教育長に結果報告書を手渡しました。

提出された校名案は今後、12月に開催される市教育委員会承認された後、27年3月の市議会定例会で条例改正が行われ、校名として正式に決定される予定です。

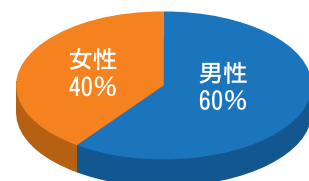
応募校名ベスト4

校名	割合(%)
胆沢	48.9
焼石	4.5
奥州	4.5
胆沢未来	4.5
その他	37.6

地域別応募状況



男女別応募状況



統合中学校完成予定図



統合中学校は、胆沢総合支所の南側約58,000㎡の土地に建設します。鉄筋コンクリート造り2階建ての校舎と柔剣道場を併せ持つ屋内運動場は、コンパクトで管理しやすい、安心・安全で環境にやさしい快適な学び舎を創出する設計となっています。校舎・屋内運動場の建設に続き、プールおよびグラウンドの整備を順次行い、29年の開校を予定しています。



CMに出演した岩手大学ため池サークル「Ike-ic（イケイク）」の一コマ

(株)岩手朝日テレビが主催する「ふるさとCM大賞 in I W A T E 2 0 1 4」の審査会が11月30日、盛岡市のいわて県民情報交流センター（アイナ）を会場に行われました。県内の自治体が15秒のCMを作成し、地元の魅力やPR。27市町村が参加し、入賞を目指して競い合いました。

地域6次産業化をテーマに「本物の食」を表現した本市のCMは特別賞を受賞。副賞として贈られた50回の放送権により、1年間お茶の間に届けられます。同審査会の放送は27日午後4時半から。お楽しみに！

「うまい田 行きた稲！」



森清範貫主の読経とともに参列者が鎮魂を祈る

「阿馬流為・母禮之碑」の法要が11月8日、京都市の清水寺で行われました。建碑20周年の節目となったことは、小沢市長や関西アテイル・モレの会員など約200人が参列。法要に先立ち、岩崎伝京都鬼剣舞（京都市・伊東陸子庭元）と伊藤流行山鹿踊（水沢区羽田町・小野寺一雄庭元）の演舞が奉納されました。

また、碑の前での法要に続き、建碑や顕彰活動に尽力した物故者の「追善法要」が円通殿で行われ、参列者はその功績をしのびました。

「節目となる建碑20周年の法要」